

## あとがき

編集委員長 市川 智史

1999（平成11）年度に小川潔先生から編集委員長を引き継ぎ、名目上は2年となります。といっても、編集委員会の作業は微妙に難しい部分があり、平成11年度は引き継ぎに時間を要してしまい、私が実質的に編集作業を始めてからは1年半程度となります。

この間、投稿論文の審査、学会誌の編集・校正・発行、編集委員会の開催、審査・編集作業の点検・整理、査読者データベースの作成等々の作業に並行して取り組んで参りました。なかでも、投稿論文の審査に関しては、作業上のミスに注意を払い、修正意見等が付けられた場合には投稿者に適切に返信し、そして採否の判断をしなくてはならないため、時間、労力、精神的負担を強いられることとなっています。

投稿者のみなさまには、審査結果の通知が遅い、時間がかかりすぎているとのご不満がおりでしょうし、ご迷惑をおかけしていることも事実です。審査の円滑化には常に努力して参りますので、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

さて、編集委員長として投稿論文の審査に携わるようになっていくつか気づいたことがございますので、多少厳しいことを申し上げる部分もありますが、以下に記しておきたいと思います。

### ○「『環境教育』投稿規定の改定と投稿のガイド」

1997年に投稿規定が改定された際に、前編集委員会が「『環境教育』投稿規定の改定と投稿のガイド」を作成されました。これは「環境教育」の7巻1号に掲載されており、しかし、新しく入会された会員も多いため、この「投稿のガイド」を知らずに論文を執筆されておられるように思われる投稿が見受けられます。この「投稿のガイド」は、編集委員会名で公表されているもので、次に投稿規定の改定等が行われるまでは、編集委員会や編集委員長が交代しても堅持されるべき編集方針（指針）であるといえます。本号に再掲いたしますので、投稿者におかれましては、論文執筆の際にご一読いただくようお願いいたします。

### ○タイトルの付け方

サブタイトルを付けたものが多く、メインタイトルがラベル的になっているように思えます。例えば「中学校における環境教育の実践—○○○○—」というようなケースです。タイトルは、論文の内容を的確に反映し、極力サブタイトルを付けなくてもわかるように努力していただくのが好ましいと思います。

### ○投稿区分

投稿区分は投稿者の自己申告に委ねられています。しかし審査の結果、投稿区分の変更を求められるケースもみられます。投稿区分を変更することになりますと、その分修正等のやりとり回数が増え、余計に時間を要することになってしまいます。投稿者自身がお自分の論文をよく点検され、適切な区分で投稿されることを期待いたします。

### ○研究方法の記述

研究方法の記述が不明瞭なケースが見受けられます。例えばアンケート調査を行ったとして、いつ、誰に対して、どのような方法で（郵送か、その場で配布回収か）調査したのか、どのような設問と選択肢を用意したのか、アンケート用紙以外に何か説明を加えたのかなどが不明瞭であるといったものが見受けられます。また、研究に用いた材料（資料）の選定方法、材料（資料）一覧、測定・分析方法、分析の枠組みの設定方法等が不明瞭であるものや、類似の先行研究で採用されている研究方法との区別が記されていないものが見受けられます。ある研究で得られた知見に対しては、別の研究者（あるいは本人自身）が同じ方法を用いて反証（反論）することもあり得るということを念頭に置いて、研究方法を明瞭に記すことが大切だと思います。

以上、気づいたことのうち比較的大きなことを申し述べました。これは編集委員長の個人的な気づきですので、編集委員会としての見解ではありません。

今後、論文審査のスピードアップに努力いたし

ますとともに、投稿規定の改定等にも取り組みたいと思っております。また、査読者データベースの作成に対して情報をご提供頂いた会員みなさんにお礼申し上げます。

学会誌「環境教育」の充実と環境教育研究の発展に向けて、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

#### 査読者一覧 (1999, 2000 (平成11, 12) 年度)

池田 秀雄	板倉 豊	岩本 廣美
上野 勝代	榎本 博明	遠藤 晃賢
延藤 安弘	大高 泉	金森 正臣
北野日出男	木全 清博	木俣美樹男
小澤紀美子	小林 辰至	小堀 洋美
笹谷 康之	佐藤 治雄	白砂洋志夫
新 広昭	新見 治	諏訪 哲郎
杉原 利治	鈴木 善次	瀬田 信哉
大丸 秀士	高月 紘	田中 春彦
高山 博之	谷口 文章	土川 忠浩
鶴岡 義彦	土永 浩史	中川 志朗
中山 迅	西城戸 司	秦 明德
原田 泰	原田 智仁	久野 武
藤井 啓之	北条 祥子	松葉口玲子
松森 靖夫	水山 光春	宮崎 正勝

森茂 岳雄	本谷 勲	山岡 寛人
山崎古都子	山下 宏文	山田 卓三
山本 友和		

投稿論文の受理通知が届きましたら、印刷原稿にするために3.5インチフロッピーディスクに、テキストファイルで保存したものと、プリントアウトした原稿を用意してください。

編集委員会の判断で適任と思われる会員の方に投稿論文の査読を依頼しています。場合によっては会員外の方にも査読をお願いすることがあります。

#### 編集委員 委員長

市川 智史
川嶋 宗継
坂井 宏光
佐島 群巳
下羽 友衛
見上 一幸
和田 武

